

平成26年9月期決算の概要①【損益の状況】

1. 足利ホールディングス連結

◇連結粗利益は、前年同期比横ばいの424億円となりました。営業経費は287億円(同比▲3億円)に減少したほか、与信関係費用も20億円に減少(同比▲11億円)しました。
 ◇株式等損益の減少(同比▲59億円)等から、経常利益は125億円(同比▲36億円)となり、税金費用(法人税等合計)の増加(同比+73億円)等から、中間純利益は77億円(同比▲107億円)となりました。

(単位：億円)

	24/9期 実績	25/9期 実績	26/9期 実績	25/9期比
連結粗利益	436	424	424	0
営業経費(▲)	299	290	287	▲3
与信関係費用(▲)	10	31	20	▲11
株式等損益	▲3	59	▲0	▲59
経常利益	131	162	125	▲36
法人税等合計(▲)	16	(+)▲25	47	73
中間純利益	114	185	77	▲107

2. 足利銀行単体

◇業務粗利益は、前年同期比ほぼ横ばいの409億円となりました。国債等債券損益は減少(同比▲8億円)しましたが、資金利益(同比+6億円)と役員取引等利益(同比+1億円)が増加し、国債等債券損益を除いたコア業務粗利益は404億円(同比+8億円)に増加となりました。
 ◇経費が244億円(同比▲3億円)に減少し、コア業務純益は160億円(同比+11億円)となりました。
 ◇与信関係費用は14億円(同比▲15億円)に減少しましたが、株式等損益が減少(同比▲65億円)したこと等から、経常利益は156億円(同比▲39億円)となりました。また、税金費用の増加もあり、中間純利益は113億円(同比▲110億円)となりました。

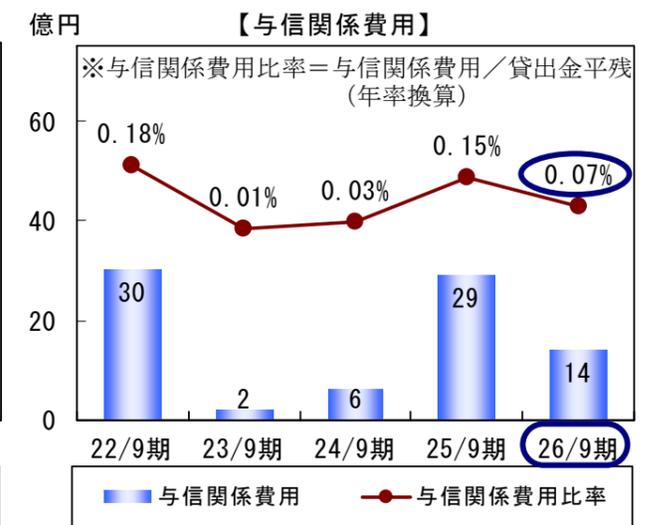
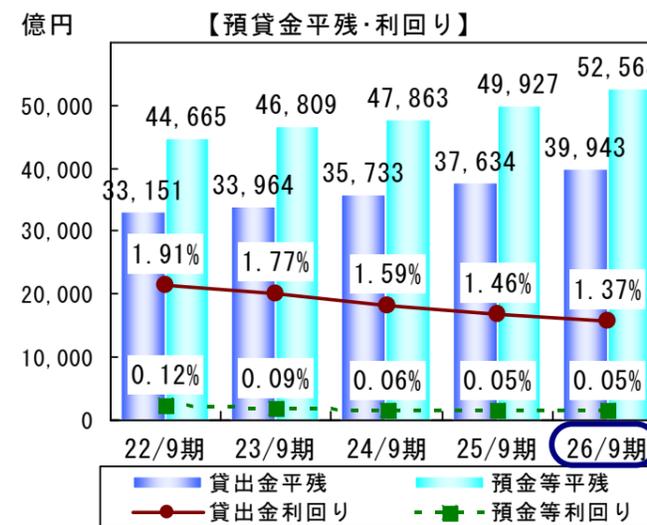
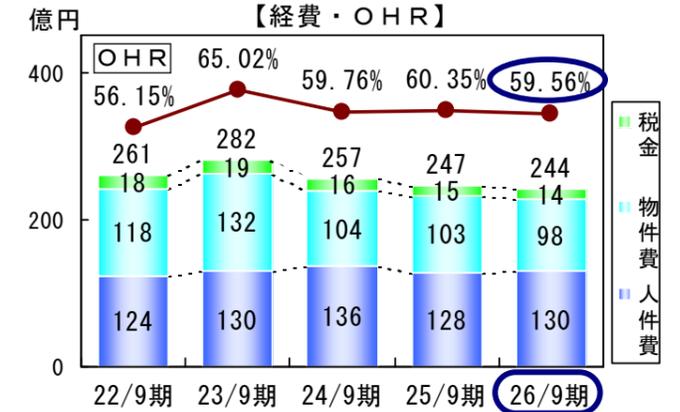
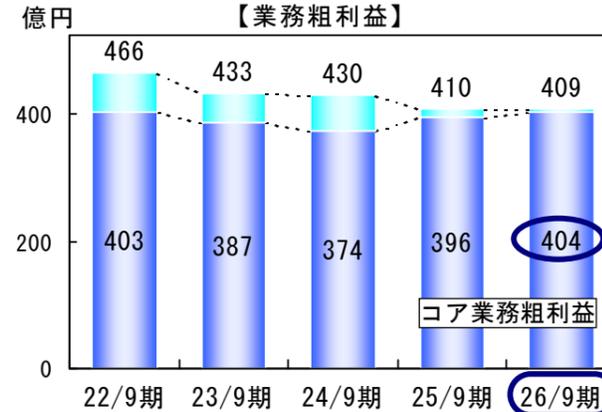
(単位：億円)

	24/9期 実績	25/9期 実績	26/9期 実績	25/9期比
業務粗利益	430	410	409	▲0
資金利益	314	323	330	6
役員取引等利益	56	70	72	1
その他業務利益	59	16	7	▲8
国債等債券損益	56	13	4	▲8
経費(▲)	257	247	244	▲3
人件費(▲)	136	128	130	2
物件費(▲)	104	103	98	▲5
実質業務純益	173	162	165	2
コア業務純益	116	148	160	11
一般貸倒引当金繰入額(▲) ①	—	1	(+)▲21	(+)▲22
業務純益	173	161	186	25
臨時損益	▲4	34	▲30	▲65
不良債権処理額(▲) ②	16	35	38	2
償却債権取立益・貸倒引当金戻入益 ③	9	7	3	▲4
株式等損益	▲1	64	▲0	▲65
経常利益	168	195	156	▲39
特別損益	▲1	▲2	▲0	2
法人税等合計(▲)	12	(+)▲30	42	73
中間純利益	154	223	113	▲110

(注) 与信関係費用=①+②-③

与信関係費用(注)(▲)	6	29	14	▲15
--------------	---	----	----	-----

3. 主な計数の推移(銀行単体)



4. 業績予想

【足利ホールディングス連結】

(単位：億円)

	26/9期 当初予想	26/9期 実績	当初予想比	27/3期 当初予想	27/3期 修正後予想	当初予想比
経常収益	450	493	43	920	960	40
経常利益	80	125	45	180	210	30
当期(中間)純利益	40	77	37	150	170	20

※当初予想は平成26年5月12日公表の予想計数。修正後予想は平成26年10月29日公表の予想計数。

【足利銀行単体】

(単位：億円)

	26/9期 当初計画	26/9期 実績	当初計画比	27/3期 当初計画	27/3期 修正後計画	当初計画比
コア業務粗利益	382	404	22	772	788	16
経費	248	244	▲4	481	479	▲2
コア業務純益	134	160	26	290	308	18
経常利益	115	156	41	254	279	25
当期(中間)純利益	73	113	40	171	196	25

※足利ホールディングス連結業績予想の基礎となる足利銀行単体ベースの計画値を、参考として記載しております。

平成26年9月期決算の概要②【主要勘定（銀行単体）】

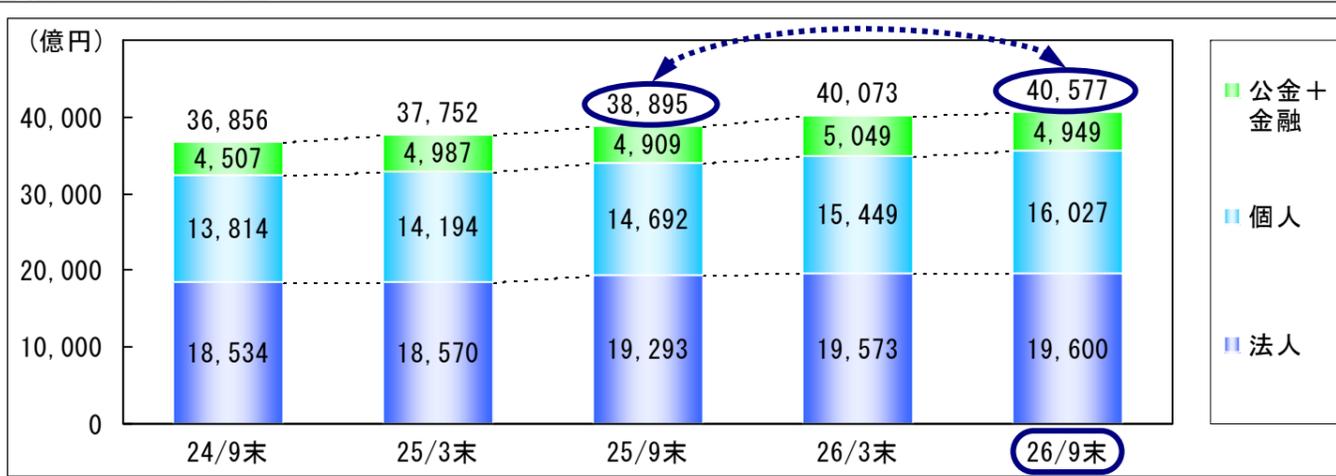
1. 貸出金

- 貸出金残高はH25/9末比+1,682億円の4兆577億円(年増率4.3%)となりました。住宅ローンを中心に個人貸出が同比+1,335億円の1兆6,027億円(年増率9.0%)に増加したほか、法人貸出についても同比+306億円の1兆9,600億円(年増率1.5%)に増加いたしました。中小企業等貸出残高(個人+中小企業)は、同比1,866億円の2兆9,274億円(年増率6.8%)となりました。
- 住宅ローンは、残高が1兆4,809億円(同比+1,298億円、年増率9.6%)、件数が93,558件(同比+5,044件)に、それぞれ増加いたしました。

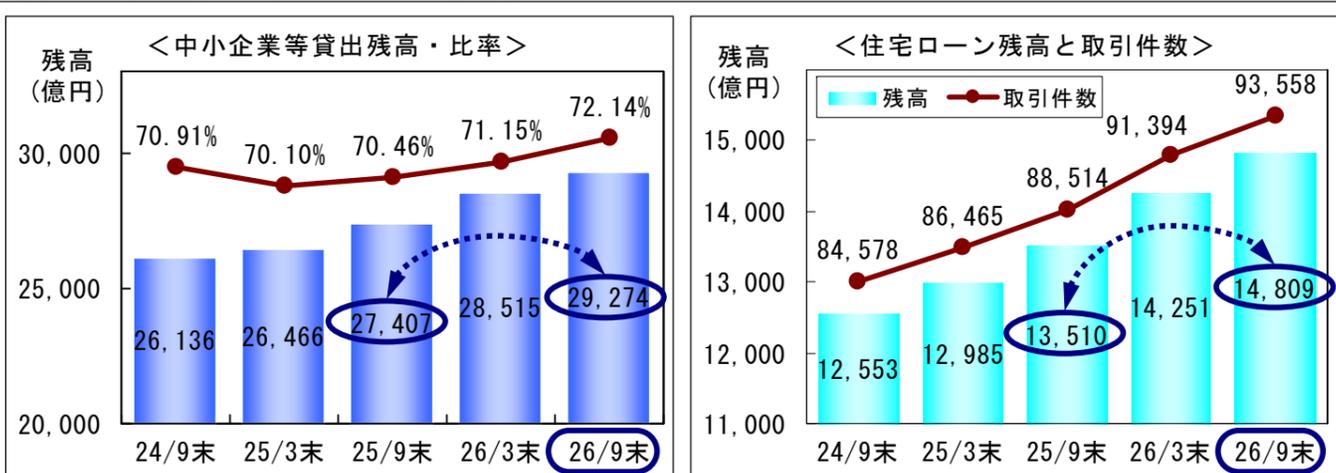
(単位：億円)

	25/9末	26/9末	25/9末比	(年増率)	26/3末
貸出金(末残)	38,895	40,577	1,682	4.3%	40,073
個人貸出	14,692	16,027	1,335	9.0%	15,449
法人貸出	19,293	19,600	306	1.5%	19,573
公金+金融	4,909	4,949	39	0.8%	5,049
(中小企業等貸出)					
中小企業等貸出	27,407	29,274	1,866	6.8%	28,515
(個人ローン)					
個人ローン	13,830	15,157	1,326	9.5%	14,580
うち住宅ローン	13,510	14,809	1,298	9.6%	14,251

【貸出金残高の推移】



【中小企業等貸出・住宅ローンの推移】



2. 預金・個人預り資産

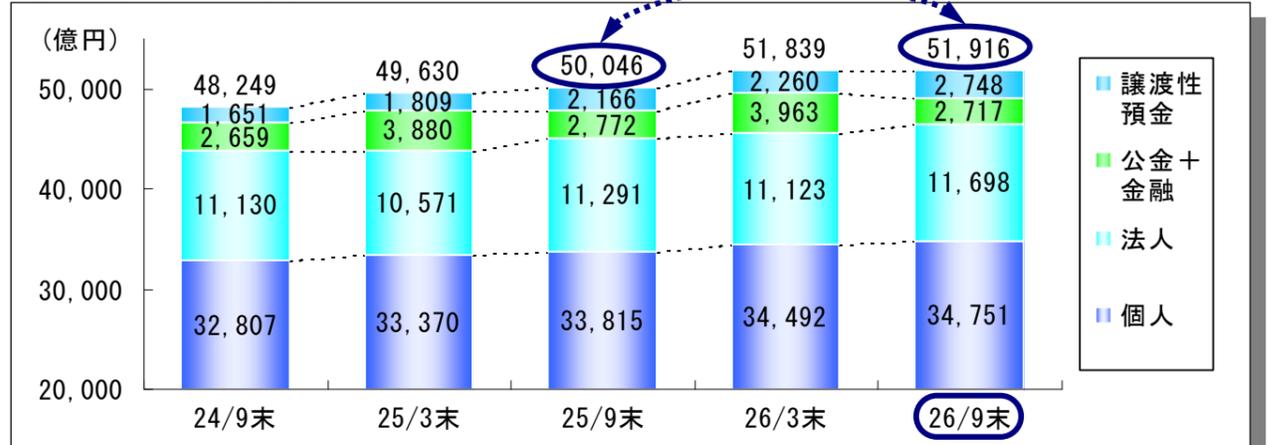
- 預金等残高(預金+譲渡性預金)は、H25/9末比+1,870億円の5兆1,916億円(年増率3.7%)となりました。個人預金が同比+936億円(年増率2.7%)、法人預金が同比+407億円(年増率3.6%)と、それぞれ堅調に増加いたしました。
- 個人預り資産は、債券が減少する一方、投信と保険が増加し、7,100億円(同比+172億円)となりました。なお、個人預金とあわせた個人金融資産残高は、4兆1,852億円(同比+1,109億円)に増加いたしました。

(単位：億円)

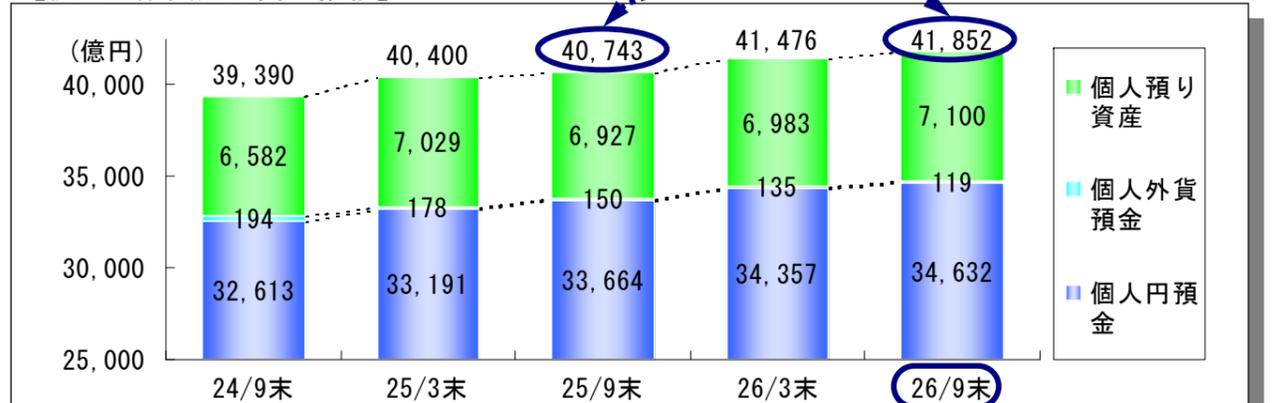
	25/9末	26/9末	25/9末比	(年増率)	26/3末
預金等残高(末残)	50,046	51,916	1,870	3.7%	51,839
預金(末残)	47,879	49,168	1,288	2.6%	49,578
個人預金	33,815	34,751	936	2.7%	34,492
法人預金	11,291	11,698	407	3.6%	11,123
公金+金融	2,772	2,717	▲55	-1.9%	3,963
譲渡性預金(末残)	2,166	2,748	581	26.8%	2,260
(個人預り資産)					
個人預り資産	6,927	7,100	172	2.4%	6,983
投資信託	2,688	3,041	353	13.1%	2,820
債券(約定ベース)	1,587	1,258	▲328	-20.7%	1,434
保険※	2,652	2,799	147	5.5%	2,728

※保険=個人年金保険+終身保険+学資保険

【預金等残高の推移】



【個人金融資産残高の推移】



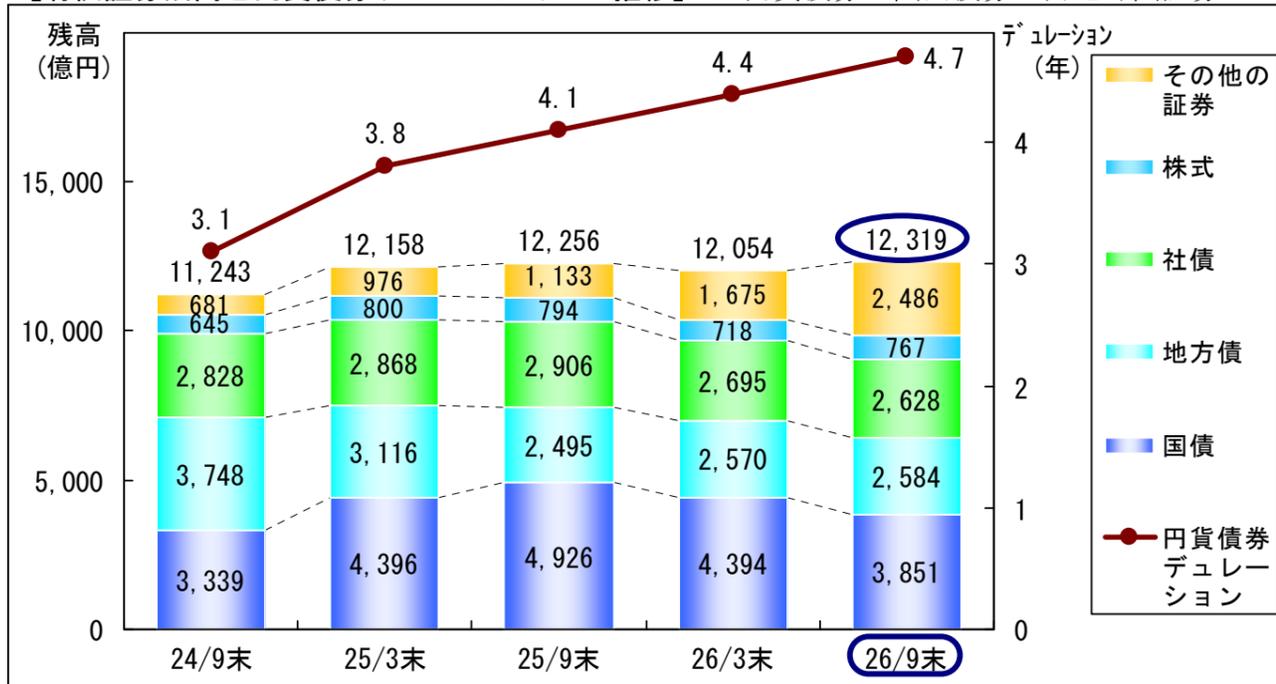
平成26年9月期決算の概要③【有価証券・不良債権・自己資本比率】

1. 有価証券の状況

(1) 有価証券残高・円貨債券デュレーション（銀行単体）

- ・有価証券残高は、1兆2,319億円(H26/3末比+264億円)となりました。
- ・債券は、国債が3,851億円(同比▲542億円)、地方債が2,584億円(同比+14億円)、社債が2,628億円(同比▲66億円)となりました。円貨債券のデュレーションは4.7年となりました。
- ・株式は、株価上昇を受け、767億円(同比+48億円)となりました。
- ・その他の証券は、外国債券や投資信託の積み増しを行ったこと等により、2,486億円(同比+810億円)となりました。

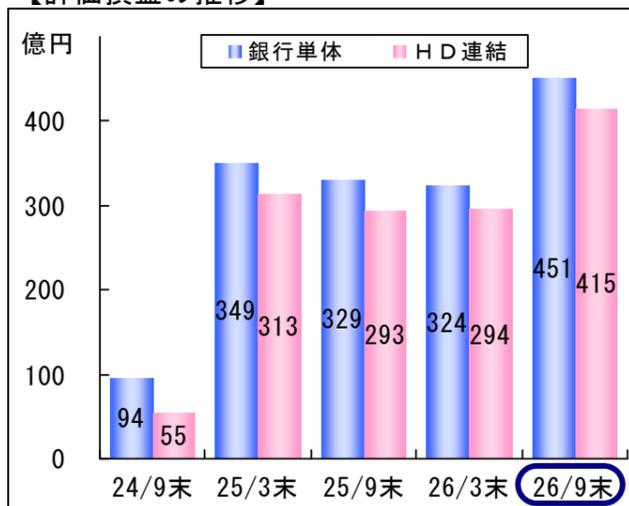
【有価証券残高と円貨債券デュレーションの推移】 ※円貨債券＝国内債券＋円建外国証券



(2) 「その他有価証券」の評価損益

- ・金利低下による債券評価益の増加や、株価上昇による株式評価益の増加等により、銀行単体が451億円のプラス(H26/3末比+126億円)、HD連結が415億円のプラス(同比+120億円)となりました。

【評価損益の推移】



【銀行単体ベース】 (単位: 億円)

	26/3末	26/9末	26/3末比
評価損益	324	451	126
債券	65	112	46
株式	231	280	49
その他	27	58	30

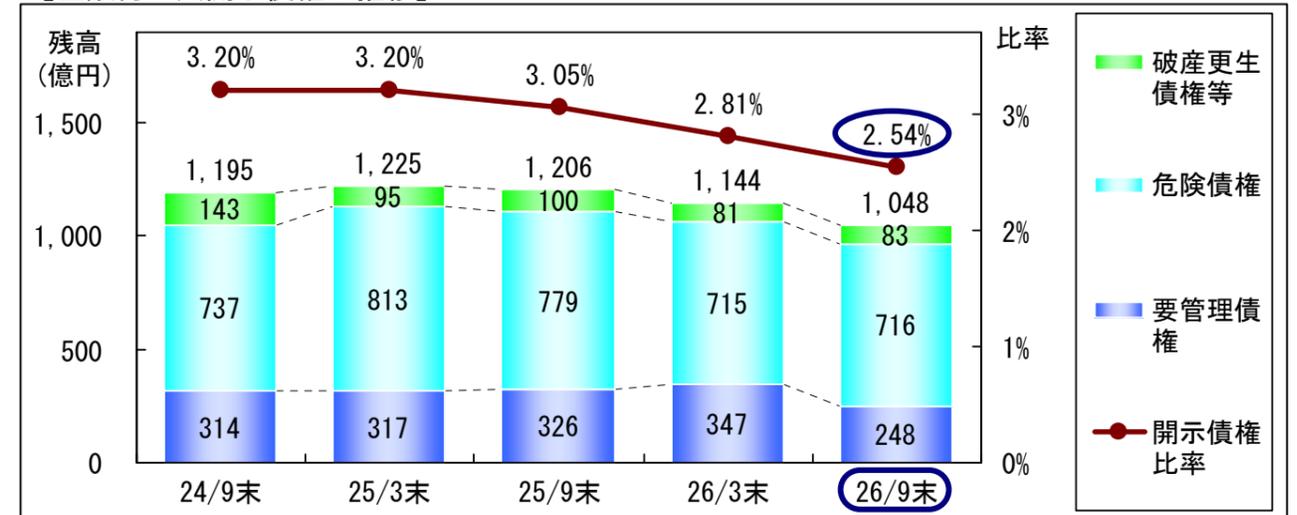
【HD連結ベース】 (単位: 億円)

	26/3末	26/9末	26/3末比
評価損益	294	415	120
債券	65	112	46
株式	195	244	49
その他	34	58	24

2. 不良債権の状況（銀行単体）

- ・不良債権残高は、要管理債権の減少により、1,048億円(H26/3末比▲96億円)に減少いたしました。また、正常債権が増加したこともあり、不良債権比率は2.54%(同比▲0.27%)に低下しました。

【金融再生法開示債権の推移】



3. 自己資本比率

- ・利益の着実な積み上げ等により、HD連結が8.82%(H26/3末比+0.33%)、銀行単体が9.07%(同比+0.39%)に、それぞれ上昇いたしました。

【26/9末の自己資本比率(新基準)】

(単位: 億円)

項目	HD連結			銀行単体		
	26/3末	26/9末	26/3末比	26/3末	26/9末	26/3末比
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	3,231	3,320	89	2,429	2,570	140
コア資本に係る調整項目の額 (B)	883	852	▲31	—	—	—
自己資本の額 (A)-(B)	2,347	2,467	120	2,429	2,570	140
リスク・アセット等の額の合計額	27,622	27,965	343	27,965	28,324	358
自己資本比率(新基準)	8.49%	8.82%	0.33%	8.68%	9.07%	0.39%

【自己資本額・自己資本比率の推移】

